



国内肥料資源の 利用拡大に向けた マッチングフォーラム in 東京

2025. 1.31 **FLYDAY** 13:00~17:00
※受付開始は12:30より

大田区産業プラザPiO 大展示ホール
〒144-0035 東京都大田区南蒲田1丁目20-20

主催：国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラム事務局



国内肥料資源の 利用拡大に向けた マッチングフォーラム in 東京



目次

はじめに	P2
出展者一覧	P3
会場マップ	P5
令和6年度国内肥料資源利用拡大アワード	P7
出展者詳細	P8
お問い合わせ先	P28
参考資料	P29

はじめに

我が国の農林水産業は、今まさにターニングポイントを迎えています。

気候変動等による世界的な食料生産の不安定化やロシアのウクライナ侵略など、食料の安定供給リスクが高まっており、食料の安全保障の強化が国家の緊急かつ最重要課題となっています。

その課題を解決すべく、今般改正された食料・農業・農村基本法(平成11年法律第106号)第42条において「国は、農業資材の安定的な供給を確保するため、輸入に依存する農業資材及びその原料について、国内で生産できる良質な代替物への転換の推進、備蓄への支援その他必要な施策を講ずるものとする。」と規定されました。

農業生産に不可欠な生産資材である肥料については、化学肥料原料の海外依存度が高く、持続可能な農業生産の実現のためには、化学肥料の使用低減と併せて、国内にある資源の肥料利用の拡大を進めていく必要があります。

この度、農林水産省補助事業を活用し、下水汚泥資源や畜産堆肥などの肥料原料を供給する事業者や肥料メーカー、肥料販売事業者、それら肥料を活用する耕種農家等の幅広い関係者が一堂に会し、関係事業者同士の情報交換や連携づくりの場となる「国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラム in 東京」を開催いたします。

このような国内肥料資源の肥料利用に関する関係者が一堂に会するイベントを①昨年6月に東京都大田区産業プラザPiO、②昨年9月に熊本県グランメッセ熊本、③本年1月に宮城県夢メッセみやぎ、④本年3月に愛知県名古屋国際会議場で開催したところ、予定のブース出展数を超える参加があり、更には当日の一般来場者も想定を超え、基調講演や事例発表では臨時席を設置するなど国内肥料資源にかかる関心の高さを伺うことができました。

この度のマッチングフォーラムでは、そのような関心の高さや関係者の追加開催の希望にこたえるべく、本年度もより活発なマッチング等が可能となるよう場を準備しました。

このイベントが契機となって、各地域の状況に応じた肥料の国産化に向けた多様な取組が進むことを期待いたします。

出展者一覧

Exhibitors

国内肥料原料供給者

30 soil

肥料製造事業者

- 31 株式会社山有
- 32 株式会社Jバイオフードリサイクル
- 33 日本アルコール産業株式会社
- 34 中部飼料株式会社
- 35 片倉コープアグリ株式会社
- 36 朝日アグリア株式会社
- 37 イノチオプラントケア株式会社
- 38 丸栄株式会社
- 39 株式会社アサギリ
- 40 株式会社インターファーム
- 41 株式会社井上政商店・(株)ピラミッド・(株)アイエム共同出展
- 42 水ingエンジニアリング株式会社 事業開発統括部 循環事業開発部
- 43 国土緑化株式会社
- 44 株式会社ユーグレナ
- 45 株式会社クレスト
- 46 共和化工株式会社(和饗グループ)
- 47~48 富士見工業株式会社

農業機械等メーカー

- 23 株式会社天神製作所
- 24 三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社
- 25 緑産株式会社

農業機械等メーカー

- 26 前澤工業株式会社
- 27 株式会社垣内
- 28 アイケイ商事株式会社
- 29 株式会社チュウチク

その他

- 10 日本ゼウス工業株式会社
- 11 株式会社オークネット・アイビーエス
- 12 株式会社フジタ
- 13 フロー株式会社
- 14~20 JA全農
- 21 株式会社白崎コーポレーション
- 22 一般社団法人日本下水汚泥資源化協会

自治体

- 06 神戸市経済観光局農政計画課
- 07 滋賀県下水道課
- 08 埼玉県下水道局
- 09 東京都下水道局

相談窓口

- 01 農林水産省関東農政局
- 02 一般社団法人日本有機資源協会
- 03 一般財団法人畜産環境整備機構
- 04 公益社団法人日本下水道協会
- 05 一般社団法人全国肥料商連合会

大田区産業プラザPiO 大展示ホール

シンポジウム会場

国内肥料資源利用拡大アワード特設コーナー(奨励賞)



※お手洗いは大展示ホール外建物内にごさいます。 ※喫煙所は6Fにごさいます。

国内肥料原料供給者

30 soil

肥料製造事業者

31 株式会社山有

32 株式会社Jバイオフードリサイクル

33 日本アルコール産業株式会社

34 中部飼料株式会社

35 片倉コープアグリ株式会社

36 朝日アグリア株式会社

37 イノチオプラントケア株式会社

38 丸栄株式会社

39 株式会社アサギリ

40 株式会社インターファーム

41 (株)井上政商店・(株)ピラミッド・(株)アイエム共同出展

42 水kingエンジニアリング株式会社 事業開発統括部 循環事業開発部

43 国土緑化株式会社

44 株式会社ユーグレナ

45 株式会社クレスト

46 共和化工株式会社(和響グループ)

47~48 富士見工業株式会社

農業機械等メーカー

23 株式会社天神製作所

24 三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社

25 緑産株式会社

農業機械等メーカー

26 前澤工業株式会社

27 株式会社垣内

28 アイケイ商事株式会社

29 株式会社チュウチク

その他

10 日本ゼウス工業株式会社

11 株式会社オークネット・アイピーエス

12 株式会社フジタ

13 フロー株式会社

14~20 JA全農

21 株式会社白崎コーポレーション

22 一般社団法人日本下水汚泥資源化協会

自治体

06 神戸市経済観光局農政計画課

07 滋賀県下水道課

08 埼玉県下水道局

09 東京都下水道局

相談窓口

01 農林水産省関東農政局

02 一般社団法人日本有機資源協会

03 一般財団法人畜産環境整備機構

04 公益社団法人日本下水道協会

05 一般社団法人全国肥料商連合会

令和6年度国内肥料資源利用拡大アワード

令和6年度国内肥料資源利用拡大アワードとは？

海外からの輸入原料に依存した肥料から、堆肥や下水汚泥資源等の国内資源を活用した肥料へ積極的に転換を図る取組や地域で効率的に資源循環を推進する取組を通して顕著な実績を挙げている肥料原料供給事業者、肥料製造事業者、肥料利用者を広く表彰し、国内資源肥料の全国普及、生産性の向上を推進することを目的としています。

受賞者一覧

農林水産省 農産局長賞

【朝日アグリア株式会社】 “堆肥を極める”とのテーマの下、堆肥、汚泥等の国内資源を原料に活用した肥料の製造・販売
【全国農業協同組合連合会福岡県本部・福岡市】 未利用資源「堆肥、再生リン」を活用した新規エコ肥料の開発および資源循環の構築

農林水産省 畜産局長賞

【アークグループ】 畜種と耕種が連携し、有機肥料を要に資源循環し、消費者と繋がる六次産業化
【南国興産株式会社】 農畜産副産物の資源化を利用した堆肥入り配合肥料の実用化

国土交通省 上下水道審議官賞

【鶴岡市・鶴岡市農業協同組合】 「つるおかコンポスト」による地域内資源循環の「輪」
【富士見工業株式会社】 地域循環資源を活用したパーク堆肥と下水汚泥コンポストで法面緑化基盤材の全国展開を実現

国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会 奨励賞

【上野台堆肥生産協同組合】 極楽饒土研究会(コンポスト使用農家との微生物農法の勉強会)
【片倉コープアグリ株式会社・三和酒類株式会社】 麦焼酎の醸造過程で発生する副産物の肥料原料活用と環境調和型農業の促進に関する取組
【株式会社井上政商店・株式会社ピラミッド】 高品質汚泥肥料の製造
【共和化工株式会社】 循環型農業事業～超高温好気性発酵がつかなく肥料化・農業・食～
【熊本市東部堆肥センター】 地下水の硝酸性窒素削減を目的とした家畜排せつ物処理施設の整備
【グリーンアース株式会社】 地域鉱脈の「鶏ふん」を日本の高品質な主要肥料にする取組
【資源循環「こうべ再生リンプロジェクト」コンソーシアム】 持続可能な農業を支える資源循環「こうべ再生リン」プロジェクト
【築上町】 築上町の「挑戦する農業」～資源循環型農業に液肥で挑んだ30年～
【響灘ホップの会・北九州市上下水道局】 北九州市におけるBISTRO 下水道での地ビール醸造・販売からまちづくり
【菱東肥料株式会社】 発酵鶏ふん堆肥および鶏ふん燃焼灰を利用した粒状化肥料の開発

タイムスケジュール

- 13:00~13:04 開会挨拶、諸注意事項
- 13:04~13:33 表彰状授与および講評
- 13:33~13:45 関係者記念撮影、休憩
- 13:45~13:57 事例発表【朝日アグリア株式会社】
- 13:57~14:09 事例発表【全国農業協同組合連合会福岡県本部・福岡市】
- 14:09~14:21 事例発表【アークグループ】
- 14:21~14:33 事例発表【南国興産株式会社】
- 14:33~14:45 事例発表【鶴岡市・鶴岡市農業協同組合】
- 14:45~14:55 事例発表【富士見工業株式会社】
- 14:55~17:00 交流コアタイム

※会場内に各受賞者の受賞内容をまとめたポスター展示がございます。

出展者詳細

Booth
30

soil

国内肥料原料供給者



s o i l

強み・特徴・販売などの実績

soilは、国内肥料資源の利用拡大を目的に、独自開発した有機資材「Moocal-700」を提供しています。

Moocal-700は、土壌改良と牧草の品質向上に寄与し、酪農や農業における持続可能な生産を支援します。

特に、人工的な素材を使っておらず、外の空気に触れる環境で培養している肥料です。

地域資源の活用と環境負荷低減を重視し、生産者と消費者を繋ぐ新たな価値創造に取り組んでいます。

基本データ

所在地 北海道川上郡標茶町麻生4丁目26番地

公式サイト <https://www.soil-shibecha.com/>

主要事業の概要

soilはMoocal-700を活用した、持続可能な農業の支援を行う事業です。

提供可能な肥料原料

家畜ふん堆肥(牛)

出展担当

担当者 今村太一

電話番号 09076484675

メール taichi.imamura0725@gmail.com

Booth
31

株式会社山有

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

超高温好気性発酵は45日設計の高速堆肥化です。副資材を必要とせず、含水率90%超のバイオマスも30%以下の取り扱いやすい肥料になります。

鹿児島市下水汚泥堆肥化場を43年間維持管理しています。代理店を通じて22道県約40工場に堆肥化技術を提供しています。

超高温発酵により雑草の種子やウイルス等を死滅させます。

基本データ

所在地 鹿児島県鹿児島市城南町7-47-210

公式サイト <https://ym-sanyuu.co.jp/>

主要事業の概要

「YM菌」による超高温好気性発酵で下水汚泥等を堆肥化。完成品を年間約5千トンを緑地還元しています。

提供可能な肥料

汚泥肥料

出展担当

担当者 坂元貴幸

電話番号 09073862303

メール sakamoto@ym-sanyuu.co.jp

出展者詳細

Booth
32

株式会社Jバイオフードリサイクル 肥料製造事業者



食品リサイクル&バイオガス発電事業
食品廃棄物を電気と肥料に変えてSDGs達成に貢献しています!!



強み・特徴・販売などの実績

メタン発酵の発酵液(液体肥料:はまのしずく)と脱水後の固形分(固形肥料:はまのみのり)を肥料として販売しています。

原料はコンビニやスーパー、食品工場や食品加工会社などから排出される食品廃棄物のため、環境負荷の少ない、資源循環型肥料です。

この肥料を活用し、当社、農業事業者、および排出事業者を結ぶ新たなリサイクルループを目指しています。

2022年9月に肥料登録を行い、昨年度はまのみのり(固形肥料)を約3,000t出荷しております。

基本データ

所在地 神奈川県横浜市鶴見区弁天町3番地1

公式サイト <https://www.j-bio.co.jp/>

主要事業の概要

JFEエンジニアリングとJR東日本の両グループ出資により、食品リサイクル&バイオガス発電事業を行っています。

提供可能な肥料原料

食品廃棄物由来肥料(バイオ液肥等)

出展担当

担当者 大場裕子

電話番号 08072421907

メール oba-yuko@j-bio.co.jp

Booth
33

日本アルコール産業株式会社

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

弊社は、沖縄産サトウキビ由来の糖蜜を原料に発酵アルコールを製造する工程で生じる副産物を活用しています。有機酸、糖、微量元素、アミノ酸を種類豊富に含む、作物や土壌環境、人にやさしい有機入り肥料を製造・販売し、国内肥料資源の利用拡大を進めています。

九州地方他、全国の卸様等を通して販売しております。

糖蜜を原料としているため匂いが甘く、観光農園でも使いやすいと評価をいただいています。

基本データ

所在地 東京都中央区日本橋小舟町6-6小倉ビル6階

公式サイト <https://www.j-alco.com/>

主要事業の概要

発酵アルコールの製造・販売事業

提供可能な肥料原料

サトウキビ糖蜜由来の発酵アルコール副産物

出展担当

担当者 佐藤孝成

電話番号 08020368501

メール sato-t@j-alco.com

Booth
34

中部飼料株式会社

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

主要事業である畜・水産用飼料製造事業のネットワークを活かし、高品質な有機原料(国内肥料資源)を安定して調達できる点と、飼料製造で培った独自のペレット加工技術の2点が特長となります。

2年前よりこの特長を活かし、食品残渣由来の堆肥等の未利用資源を使用したペレット製品の開発に取り組んでおり、その製造・販売も徐々に伸びつつあります(2023年度は販売実績で400t以上)。

基本データ

所在地 茨城県茨城県神栖市東深芝2番地4

公式サイト <https://www.chubushiryō.co.jp/>

主要事業の概要

当社は有機肥料と無機肥料を配合しペレット形状に成型した肥料を製造・販売しております。

提供可能な肥料原料

食品残渣由来堆肥

出展担当

担当者 前田康紀

電話番号 08026103494

メール y-maeda@chubushiryō.co.jp

Booth
35

片倉コープアグリ株式会社

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

北海道から九州まで、13の工場を展開しているため、各地域の特性に合わせた肥料資源の活用が可能です。麦焼酎製造の副産物を肥料原料としてリサイクルすることで、地域資源の有効活用と循環型社会の実現に貢献しています。

さらに、下水汚泥由来の回収リン、家畜ふん由来堆肥、食品残渣由来堆肥など幅広い国内肥料資源の活用実績があります。

これらの取り組みを通じて、環境に配慮した持続可能な農業を推進しています。

基本データ

所在地 東京都千代田区九段北一丁目8番10号
住友不動産九段ビル15階

公式サイト <https://www.katakuraco-op.com/>

主要事業の概要

有機肥料、無機肥料、培土、微生物資材など、植物の生育をサポートする資材を製造・販売しています。

提供可能な肥料原料

家畜ふん堆肥(牛)、家畜ふん堆肥(豚)、家畜ふん堆肥(ブロイラー)、家畜ふん堆肥(採卵鶏)、牛肉骨粉、下水汚泥(回収リン)、食品残渣由来堆肥、その他(下水汚泥(燃焼灰、し尿)、木質バイオマス燃焼灰)

出展担当

担当者 植田有希子

電話番号 09077247141

メール yukiko_ueta@katakuraco-op.com

出展者詳細

Booth
36

朝日アグリア株式会社

肥料製造事業者



資源循環型農業へ

堆肥を極める

新たな堆肥市場の創造

堆肥活用肥料の全国展開

強み・特徴・販売などの実績

朝日アグリアは資源循環型社会の実現のため、強みである粒状加工技術、未利用資源活用力、新商品開発力を活かし、日本農業が抱える課題解決を目指します。

堆肥と化成肥料を一粒にした混合堆肥複合肥料「エコレット」を日本で初めて販売して以降、堆肥活用肥料の普及拡大に努め、総販売額は年間2万トンを超えました。また下水汚泥焼灰の活用にも挑戦し、菌体りん酸肥料入り混合堆肥複合肥料を日本で初めて販売しました。

基本データ

所在地 東京都豊島区東池袋3丁目23番地5号Daiwa東池袋ビル

公式サイト <https://www.asahi-agria.co.jp/>

主要事業の概要

畜ふん堆肥を主体に、国内肥料資源を積極活用した、各地域のニーズや作物に応じた粒状複合肥料の製造、販売

提供可能な肥料原料

家畜ふん堆肥(牛),家畜ふん堆肥(豚),家畜ふん堆肥(ブロイラー),家畜ふん堆肥(採卵鶏),下水汚泥(回収リン),食品残渣由来堆肥,その他(下水汚泥焼灰(菌体りん酸肥料))

出展担当

担当者 安河内孝晃

電話番号 09019993074

メール t.yasukouchi@asahi-kg.co.jp

Booth
37

イノチオプラントケア株式会社

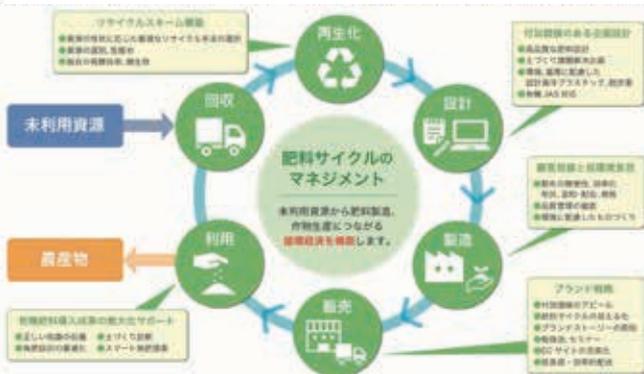
肥料製造事業者



イノチオプラントケア株式会社

inochio

肥料サプライチェーンを構築し持続可能な循環型社会を実現します



強み・特徴・販売などの実績

イノチオグループは2023年4月、優れた有機肥料を開発してきた川合肥料と統合しました。

今後はグループの幅広いネットワークと川合肥料が長年培ってきた発酵技術を生かして有機農業や土づくりを推進し、国内の未利用資源に新たな価値を付加し、環境再生型農業の実現を目指します。

その一環として2024年12月に、堆肥化における悪臭防止と窒素・腐植酸含量の向上を可能にする発酵技術を確立し、特許出願をいたしました。現在この技術を基盤とし、生産体制の確立に向けて製造パートナーを募集しております。

基本データ

所在地 静岡県静岡県磐田市前野2251

公式サイト <https://www.inochio-plantcare.co.jp/>

主要事業の概要

有機肥料開発・製造・販売 / 有機農業コンサルティング / SDGsサポート / 農業用ドローン・無人車

提供可能な肥料原料

家畜ふん堆肥(ブロイラー),家畜ふん堆肥(採卵鶏),牛肉骨粉,食品残渣由来堆肥

出展担当

担当者 岩瀬訓良

電話番号 08036693553

メール kuniyoshi.iwase@inochio-plantcare.co.jp

Booth
38

丸栄株式会社

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

独自の製法により、水分量、硬度、粒度が整った高品質な商品を短期間納品できること、かき殻肥料が有機JAS資材リストに登録されていることが強みです。また、牡蠣殻と2種類の肥料を混合した粉末または粒状の製品の製造が可能です。

新製品の「カキテツ」は、硫化水素を吸着する効果があり(広島大学で実証済み)、多くの被害が出ているガス湧きに効果的な対策ができる商品など、農家の課題解決に寄与できる商品展開が強みです。

基本データ

所在地 広島県広島市中区十日市町1-4-31

公式サイト <https://hiroshima-maruei.com/>

主要事業の概要

国産のかき殻を原料とした「農家の課題解決になる肥料」を製造し、全国に販売しています。

提供可能な肥料原料

かき殻肥料製品(粉/粒/粗粒)

出展担当

担当者 立木仁

電話番号 09056900001

メール j.tachiki@hiroshima-maruei.com

Booth
39

株式会社アサギリ

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

静岡県内最大級のコンポスト設備で、年間約5万tの原料を受け入れ、140万袋(20kg袋)の製袋能力を有します。販売実績は20kg袋として40万袋/年、会社全体として2万t/年を製造・販売。

製品の特長は、果樹・稲作・葉物野菜・根類野菜など種類を問わず使用可能。

アサギリMIXには有用微生物やミネラルが豊富に含まれ完全熟成製品の為、臭いが少ない資材です。ペレット商品は、機械散布可能です。

基本データ

所在地 静岡県富士宮市人穴203-51

公式サイト <https://asagiri.info/>

主要事業の概要

動植物性残渣・食品汚泥・下水汚泥・地域の牛ふんを原料とし、発酵処理をした有機質肥料の製造・販売。

提供可能な肥料原料

家畜ふん堆肥(牛),家畜ふん堆肥(ブロイラー),家畜ふん堆肥(採卵鶏),下水汚泥(コンポスト),食品残渣由来堆肥

出展担当

担当者 岩田宏樹

電話番号 08084522958

メール h-iwata@asagiri-f.co.jp

出展者詳細

Booth
40

株式会社インターファーム

肥料製造事業者



基本データ

所在地 東京都中央区銀座3-11-5 第2中山ビル4階

公式サイト <https://www.interfirm.jp/>

主要事業の概要

肥料・農業資材の製造・輸入販売／種子の輸出・輸入／生鮮野菜の輸入・輸出／建材の輸入販売

提供可能な肥料原料

家畜ふん堆肥(採卵鶏), 牛肉骨粉, 下水汚泥(コンポスト), 食品残渣由来堆肥, その他(メタン発酵残渣(固/液))

出展担当

担当者 坂間 齊

電話番号 09049410491

メール h-sakama@inter-farm.co.jp

強み・特徴・販売などの実績

海外に肥料工場を立ち上げ、有機肥料の製造ノウハウを培ってきた。国内では発酵鶏糞(普通肥料)とその混合堆肥複合肥料や被覆肥料配合の一発肥料等の製造販売を行っている。

2022年には『鶏糞のメタン発酵方法及び鶏糞肥料の製造方法』(NEDO実証事業)で特許を取得。その実装を目指している。

本年3月末には茨城県行方市に自社肥料製造設備が完成予定で国内肥料資源を用いた有機肥料の製造販売を開始する

Booth
41

(株)井上政商店・(株)ピラミッド・(株)アイエム共同出展 肥料製造事業者



基本データ

所在地 福岡県糸島市飯原400

公式サイト <https://inouemasa.co.jp/>

主要事業の概要

(株)井上政商店と(株)ピラミッドは高品質汚泥発酵肥料の製造、(株)アイエムは両社製品の販売業者である。

提供可能な肥料原料

下水汚泥(コンポスト)

出展担当

担当者 茅 洪新

電話番号 08031511618

メール h.mao@inouemasa.co.jp

強み・特徴・販売などの実績

製品の発酵熟度が高く、肥料として窒素やりん酸及び多くの微量元素を含有し、また、活性の強い腐植酸や有益微生物も含まれており、土壌の物理性、化学性及び生物性の改善にも役立てる。

一定の量を使えば、化学肥料使用量の削減も可能で、長年にわたって使えば、土壌の良い状態が維持され、持続的な農業生産が可能になる。

なお、福岡及び栃木にそれぞれ製造工場を持っており、全国的に出荷することも可能。

Booth
42

水ingエンジニアリング株式会社
事業開発統括部 循環事業開発部

肥料製造事業者



水ing

強み・特徴・販売などの実績

1. リン回収・肥料化

平成24年度、神戸市東灘処理場でのB-DASH実証プロジェクト(国交省)に採択。リン回収装置を通じて、下水の消化汚泥から回収リンを取り出し、リン資源を活用した肥料「こうべハーベスト」の開発、製造等を行う。

2. コンポスト化

下水汚泥資源活用促進モデル実証(農水省)の進行管理役として参加(令和5~7年度)。下水汚泥と地域資源を併せた堆肥化実証プロジェクトを実施中。

基本データ

所在地 東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル27階

公式サイト <https://www.sec.swing-w.com/>

主要事業の概要

暮らしや産業に欠かせない水を支える様々な事業領域で、最適なソリューションを提供します。

提供可能な肥料原料

下水汚泥(回収リン)

出展担当

担当者 吉澤正太郎

電話番号 07075391881

メール yoshizawa.shotaro@swing-w.com

Booth
43

国土緑化株式会社

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

肥料原料となる下水汚泥や伐採木の収集から製造、販売、配送まで一貫して自社で行っており、高品質のものを低価格で提供が可能です。

弊社の製品(土壌改良剤)は、1987年から公共事業等での利用実績があり、最近では、東日本大震災の復興事業においても活躍中です。

2024年3月に菌体りん酸肥料の大臣確認を民間で初めて取得しました。

基本データ

所在地 群馬県前橋市富士見町赤城山1204-435

公式サイト <https://www.kokudoryokuka.co.jp/>

主要事業の概要

下水汚泥と未利用森林資源(伐採木等)を混合、好気性発酵によりコンポスト化し、肥料や土壌改良材を製造

出展担当

担当者 高橋京悠

電話番号 08011588466

メール atsu-t@jouryoku.com

Booth
44

株式会社ユーグレナ

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

微細藻類ユーグレナやバイオ燃料の原料となる油脂を抽出した後の脱脂藻体、その他ユーグレナ・グループ内外のバイオマス未利用資源を肥料、飼料へと活用し、循環型農業に貢献する取り組みを行っております。

また、農林水産省の「ペレット堆肥の広域流通促進モデルの実証」課題にも代表機関として取り組んでおります。中日本（中部地方および近畿地方）の事業者・生産者等とコンソーシアムを組み、鶏ふん堆肥を原料にしたペレット堆肥の開発・製造を行います。

基本データ

所在地 東京都港区芝5丁目29番11号

公式サイト <https://www.euglena.jp/>

主要事業の概要

微細藻類入り肥料やペレット堆肥等の研究開発・製造等

提供可能な肥料原料

微細藻類粉末（ユーグレナ・クロレラ乾燥粉末）

出展担当

担当者 石浦啓佑

電話番号 07016414019

メール keisuke.ishiura@euglena.jp

Booth
45

株式会社クレスト

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

＜ソイルボーンの4大特徴＞

1. 窒素が高いL型肥料です。窒素：リン酸：加里＝4.0:2.5:2.0
2. においが少ないです。
3. 低水分で、硬いペレット状です。
4. 70℃で1時間殺菌されており、安心安全です。

本商品は堆肥ではなく、有機質肥料としてご利用ください。

普通肥料登録済みです。

千葉県の農場で製造しており、地元のJA様での取扱い、耕種農家様に直接販売しています。

基本データ

所在地 愛知県小牧市大字大草5995

公式サイト <https://www.crestfarm.co.jp/>

主要事業の概要

鶏糞を国内初の新技術で加工した高窒素有機質肥料「ソイルボーン」を製造しています。

出展担当

担当者 河田峻花

電話番号 0568792448

メール r_kawada@crestfarm.jp

Booth
46

共和化工株式会社(和饗グループ) 肥料製造事業者



和饗グループ
微生物はうそをつかない
共和化工株式会社
KYOWA KAKO CO., LTD.
共和メンテナンス株式会社
株式会社キョウワエコテック
和饗エコファーム株式会社



強み・特徴・販売などの実績

下水汚泥や生ごみ等のバイオマスを微生物の力で発酵した有機由来の肥料を製造・販売しています。

独自技術である「超高温好気性発酵システム」を活用し、90℃以上に達する発酵温度で廃棄物に含まれる病原菌や雑草種子等を死滅させ、安心安全で衛生的な肥料を製造しています。

全国で年間約4万tの販売実績を有し、ペレットタイプや大きさの異なる粒タイプを揃えています。農業利用だけではなくゴルフ場でも広く利用されています。

基本データ

所在地 東京都品川区西五反田7-25-19

公式サイト <https://kyowa-kako.co.jp/>

主要事業の概要

下水汚泥をはじめとしたバイオマスを再資源化し、農業と食へと繋げる取り組みを行っています。

提供可能な肥料原料

下水汚泥(コンポスト)、その他(生ごみ、家畜ふん尿、動植物性残さ、刈草、剪定枝)

出展担当

担当者 粟津みなみ

電話番号 0334941312

メール minami.awazu@kyowa-kako.co.jp

Booth
47~48

富士見工業株式会社

肥料製造事業者



強み・特徴・販売などの実績

農業資材・緑化資材事業ともに全国各地に営業拠点と製造拠点をもち、JA全農様・農協様・建設業者様・代理店様に販売をしています。

当社の特徴は「広域流通」であり、地場で消費できない国内循環資源由来の肥料や緑化資材を、他の地域で販売することができます。

例えば、東北地方で産出した製品を、遠く東海地方や北陸地方、北海道で販売しています。

地域に関わらず協業いただける企業様を募集中です。

基本データ

所在地 静岡県静岡市駿河区富士見台1丁目21-22

公式サイト <https://fujimi-group.co.jp/>

主要事業の概要

農業資材・緑化資材事業を全国で展開。日本各地の畜産業者様、製材業者様、産廃処理業者様と協業している。

提供可能な肥料原料

家畜ふん堆肥(牛)、家畜ふん堆肥(豚)、家畜ふん堆肥(ブロイラー)、家畜ふん堆肥(採卵鶏)、下水汚泥(コンポスト)、食品残渣由来堆肥、その他(鶏ふん燃焼灰)

出展担当

担当者 江尻琢

電話番号 09025701512

メール t.ejiri@fujimi-group.co.jp

出展者詳細

Booth
23

株式会社天神製作所

農業機械等メーカー



強み・特徴・販売などの実績

全国北海道から沖縄まで500か所に堆肥化プラントの機械を製造・納品しております。

牛・豚・鶏・汚泥・食品残渣の発酵堆肥化、出来上がった堆肥の袋詰め、ペレット化の機械を製造・販売しております。

出来上がった堆肥を耕種農家様などへ流通させるお手伝いも少しずつ行っております。

基本データ

所在地 宮崎県都城市都北町7210-2

公式サイト <https://tenjin-tm.co.jp/>

主要事業の概要

堆肥化発酵攪拌機、ペレットマシン、自動袋詰め装置の製造・販売

出展担当

担当者 天神隆

電話番号 09096532511

メール tenjin.t@tenjin-tm.co.jp

Booth
24

三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社

農業機械等メーカー



強み・特徴・販売などの実績

し尿・浄化槽汚泥等を原料とする液肥(消化液)の肥料成分(窒素、カリウム)をUF膜分離と電気透析で濃縮を行い、資源循環型農業の普及を目指した濃縮バイオ液肥の製造に取り組んでいます。

当設備には当社グループ製中空糸膜を用いています。

この液肥濃縮技術は、農林水産省「みどりの食料システム戦略」において2050年までの目標とされている、化学肥料の使用量の30%低減に貢献できる最適な技術です。

基本データ

所在地 東京都中央区日本橋本石町1-2-2

公式サイト <https://www.mcas.co.jp/>

主要事業の概要

各種産業分野向け排水処理事業、分離精製事業及び植物工場事業等のシステム提案を行うプラントメーカー

出展担当

担当者 長尾衛

電話番号 08084791385

メール mamoru.nagao.ma@mcgc.com

Booth
25

緑産株式会社

農業機械等メーカー



大型自走式コンポストターナー
トップターンX4500 / X5000 / X6000

強み・特徴・販売などの実績

1969年創業以来、「生物資源の循環利用による環境社会の構築」を理念に、革新的かつ世界トップ水準の機械製品を提供しております。

畜産分野では、家畜ふん尿から高品質な有機肥料（堆肥や液肥スラリー等）を高効率に製造する、自走式コンポストターナー、バイオチョッパーミキサー、スラリーポンプ、ミキサー、セパレーター、施肥用タンカー等の実績豊富な製品群を取り揃えています。

基本データ

所在地 神奈川県神奈川相模原市中央区田名3334

公式サイト <https://www.ryokusan.co.jp/>

主要事業の概要

酪農・畜産業、リサイクル業、木質バイオマス関連事業者向けの大型農業・環境機械の販売とアフターサービス

出展担当

担当者 富田耕介

電話番号 0427621021

メール sales.project@ryokusan.co.jp

Booth
26

前澤工業株式会社

農業機械等メーカー



繰り返し不要で省力化。高温発酵で良質堆肥

堆肥化用通気装置で悪臭の発生も防ぎ、処理量アップ

イージージェットのご紹介

強み・特徴・販売などの実績

切替し不要な高圧通気型堆肥方式

1.技術の概要 ブロワの50倍の高圧空気を堆肥に送ることで、酸素が均一に内部まで浸透するエアレーション装置です。

2.技術の特徴 イージージェットの特徴は以下の通りです。

1) 冬季でも高温発酵 2) 臭気の改善 3) 繰り返し不要 4) 発酵期間短縮 5) メンテナンスが容易

3.実績 全国66箇所、下水汚泥・生ごみ・食品残渣・畜糞等

基本データ

所在地 埼玉県川口市仲町5-11

公式サイト <https://www.maezawa.co.jp/ja/index.html>

主要事業の概要

上下水プラント・装置・及びメンテナンス堆肥化設備販売・据付

出展担当

担当者 町田和夫

電話番号 07039139985

メール kazuhiro_machida@maezawa.co.jp

出展者詳細

Booth
27

株式会社垣内

農業機械等メーカー



強み・特徴・販売などの実績

「粒造くん」シリーズは連続自動運転、省力化、低温造粒等の特徴とする造粒機で畜産業界他に350台以上の納入実績があります。

弊社は造粒テストによるペレットの試作や見学会等のサポートをしており、初めての方にも安心してペレット生産に取り組んでいただける体制を整えています。

有用な国内資源として堆肥が見直される中、堆肥ペレット化のニーズは拡大しており造粒機メーカーとして肥料資源の利用拡大に貢献していきます。

基本データ

所在地 高知県南国市岡豊町中島391-8

公式サイト <https://kk-kakiuchi.co.jp/>

主要事業の概要

畜糞、汚泥堆肥向け造粒機「粒造くんシリーズ」を製造。設計、製造から据付まで対応する産業機械メーカー。

出展担当

担当者 大久保栄治

電話番号 0888662848

メール e_okubo@kk-kakiuchi.co.jp

Booth
28

アイケイ商事株式会社

農業機械等メーカー



強み・特徴・販売などの実績

36年にわたり、畜産生産者との強いパイプを持っており、畜産農家の悩みに精通している。

畜舎建設から糞尿処理プラントまで設計、施工の実績あり。

人手不足に対応した、固液分離機や自動堆肥攪拌機販売は全国に及ぶ。

基本データ

所在地 千葉県千葉県香取市虫幡942番地

公式サイト <https://iksyoji.co.jp/>

主要事業の概要

畜産糞尿の固液分離機制作、販売。自動堆肥攪拌機の販売。牛舎、豚舎、鶏舎、堆肥舎の建設。

出展担当

担当者 横田昌男

電話番号 0478827121

メール yokota@iksyoji.co.jp

Booth
29

株式会社チュウチク

農業機械等メーカー



基本データ

所在地 愛知県豊橋市東小浜町8番地

公式サイト <https://www.chuchiku.co.jp/>

主要事業の概要

・養牛向け機械全般(飼料混合から糞尿処理)の製造・販売
・飼料販売

強み・特徴・販売などの実績

養牛向けの糞尿処理およびペレット製造システムの設計、施工をいたします。

発生する糞尿の量、品質からどのような機械を組み合わせれば、どのような堆肥・肥料になるのかをお客様と話し合いながら設計していきます。いろいろなメーカーの機械の取扱いが可能ですので、組み合わせを広く選ぶことができますが、弊社の強みです。

また、食品残渣の堆肥化も実績があります。

出展担当

担当者 海老澤真

電話番号 0532461211

メール ebisawa@chuchiku.co.jp

Booth
10

日本ゼウス工業株式会社

その他



～環境と豊かな大地～
日本ゼウス工業株式会社

基本データ

所在地 群馬県桐生市広沢町3-3840

公式サイト <http://n-zeusu.co.jp/>

主要事業の概要

学校給食残渣からアミノ酸液肥を製造、栽培作物を再び給食に提供するサーキュラエコノミー取組

強み・特徴・販売などの実績

食品廃棄物を原料に単なる堆肥では無く、乳酸菌・酵母菌・麹菌等による通性嫌気性発酵によって24時間で良質のアミノ酸主体の液肥を製造する装置(あぜりあ)を開発。活性化された微生物群を圃場に還すことで物理性・生物性も改良、慣行農法と比較して高品質かつ収量向上も実現しました。

群馬県桐生市・みどり市、栃木県宇都宮市など、サーキュラエコノミーを進める自治体との取組が拡大中です。

出展担当

担当者 望月順

電話番号 09021139946

メール j-mochizuki@sda.shintoa.co.jp

出展者詳細

Booth
11

株式会社オークネット・アイビーエス

その他



TAIHI IoT
COMPOST TECH by AUCNET

基本データ

所在地 東京都港区北青山2丁目5番8号 青山OMスクエア

公式サイト <https://aucnet-ibs.com/>

主要事業の概要

堆肥化ノウハウをデジタル化するための「TAIHI IoT」サービスを提供しています。

強み・特徴・販売などの実績

従来、堆肥製造工程において堆肥の温度をアナログ的に測定し、属人的なタイミングで攪拌・散水を行っていました。

このアナログ的測定と属人化を解決するために、堆肥温度の自動測定および自動収集を行なう温度センサーデバイスと、温度および堆肥攪拌のタイミングを可視化するためのダッシュボードを開発しました。

出展担当

担当者 間宮弥生

電話番号 07075140741

メール mamiyay@ns.aucnet.co.jp

Booth
12

株式会社フジタ

その他



強み・特徴・販売などの実績

○特徴と強み

- ・未利用バイオマス(を炭化した炭化物の)有効活用
- ・下水汚泥分離液等からのリン回収
- ・脱炭素・資源循環を実現し、地力を回復させる肥料および堆肥の製造

○トピックス

- ・R6年6月より福山市で下水道革新的技術実証事業(B-DASHプロジェクト)を開始
- ・R6年4月に「プライム肥料1号」として肥料登録完了

基本データ

所在地 東京都千代田区千代田4-25-2 修養団SYDビル

公式サイト <https://www.fujita.co.jp/>

主要事業の概要

バイオ炭から製造したプライカーボン®を用いて下水処理場からリンを回収し、肥料や堆肥に加工、販売する。

出展担当

担当者 倉谷直樹

電話番号 08058619491

メール naoki.kuratani@fujita.co.jp

Booth
13

フロー株式会社

その他



Flow

強み・特徴・販売などの実績

廃棄物からエネルギーと完熟肥料を産み出す畜産メタン発酵バイオガスプラントの計画策定や安定稼働の為に運転管理サポートを行っています。

プラント事業の成功を目指し、町の廃棄物処理施設・エネルギー施設としての整備を提案しています。

当日は弊社が管理を行うプラントで作られた完熟肥料であるバイオ液肥と再生敷料を展示します。

基本データ

所在地 北海道札幌市北区篠路町上篠路101-36

公式サイト <http://flow.hokkaido.jp/>

主要事業の概要

再生可能エネルギー導入支援やプロジェクトマネジメント、循環型社会の実現に向けたまちづくりの提案

出展担当

担当者 酒井恭輔

電話番号 07012161584

メール sakai@flow.hokkaido.jp

Booth
14~20

JA全農

その他



全農グループ

強み・特徴・販売などの実績

国内肥料メーカーと協力し、家畜排せつ物由来の堆肥、鶏糞焼灰、下水由来の再生リンといった国内肥料資源を原料とした肥料製品の開発・普及を進めています。また、耕畜連携のマッチング促進を目的としたwebサイト「耕×畜なび」を開発・公開し、堆肥の利活用を普及啓発しています。

出展ブースでは「耕×畜なび」やグループで展開する肥料事業の紹介、畜糞堆肥のサンプルを展示します。

基本データ

所在地 東京都千代田区大手町1-3-1JAビル

公式サイト <https://www.zennoh.or.jp/>

主要事業の概要

JA全農グループは農畜産物・生産資材の購入・販売といった経済事業に取り組んでいます。

出展担当

担当者 石川梨良

電話番号 0362718215

メール ishikawa-rira@zennoh.or.jp

出展者詳細

Booth
21

株式会社白崎コーポレーション

その他



基本データ

所在地 東京都中央区日本橋本町2-6-3 小西ビル6F

公式サイト <https://www.shirasaki.co.jp/>

主要事業の概要

「環境にやさしい」事業を追求し、防草・植栽シート・農業資材の企画販売を全国に広く展開しております

強み・特徴・販売などの実績

よりすぐられた自然由来の菌を、弊社のバイオ技術で品質をコントロールしながら発酵培養された人にも地球にもやさしい複合微生物「菌んぐ」シリーズ。

アンモニア臭、トリメチルアミンなどのニオイに対し高い消臭効果があり、堆肥工場内の臭気改善、近隣からの臭気に関する苦情対策にご利用いただいております。

化学物質を一切使用しておらず、堆肥の品質にもまったく影響がありません。

出展担当

担当者 和原剛

電話番号 09019904918

メール t-wahara@shirasaki.co.jp

Booth
22

一般社団法人日本下水汚泥資源化協会

その他



基本データ

所在地 東京都品川区西五反田7-25-19

公式サイト <https://www.jsra.or.jp/>

主要事業の概要

自治体や農業従事者の方々が安心して国内資源を製造・利用できるシステム構築へ向けた事業を行っています。

強み・特徴・販売などの実績

当協会は各会員の知見を集約・応用し、以下のような事業に取り組んでおります。

- ① 肥料化事業を検討する各自治体の相談窓口
- ② 肥料化事業に関する計画・建設・運営・流通の情報収集
- ③ 農業従事者のニーズに合わせた、下水処理場から発生する脱水ケーキ・焼却灰・炭化汚泥等の肥料利用推進に向けた事業検討
- ④ 各省等へ向けた提言活動
- ⑤ 国内資源利用拡大へ向けた普及活動 など

出展担当

担当者 佐々田圭晃

電話番号 0354871095

メール info@jsra.or.jp

Booth
06

神戸市経済観光局農政計画課

自治体



強み・特徴・販売などの実績

市内の下水処理場において、下水に含まれるリンを回収し、これを「こうべ再生リン」として肥料原料として供給しています。

肥料製造事業者がこれをもとに「こうべハーベスト」肥料を製造し、市内農業者に販売しています。

市としては、市民、農業者に向けて、この取り組みの意義を発信し、地域資源循環の取り組みを広げようとしています。

基本データ

所在地 兵庫県神戸市中央区御幸通6-1-12

公式サイト <https://www.city.kobe.lg.jp/a78445/kurashi/sumai/sewage/projects/phosphorus01.html>

主要事業の概要

人口100万人以上の大都市の中では1位、近畿圏でも市町村別で5位の農業産出額を誇っています。

出展担当

担当者 佐藤大輔

電話番号 0789840369

メール nouseikeikakuka@office.city.kobe.lg.jpBooth
07

滋賀県下水道課

自治体



強み・特徴・販売などの実績

これまで産業廃棄物処分していた下水汚泥の有効利用のため、下水道審議会の答申を経て事業方針を定めました。施設の設計・建設に加えて維持管理まで一体化した方式で整備し、長期的に事業を安定実施できる施設としています。

製造した汚泥肥料は肥料登録し、県内在住者を対象とした公募により愛称を「おうみっ肥(こ)」として現地でセルフ方式で販売をしています。今年6月の販売開始以来、市内外、県外も含め売れ行きは好調です。

基本データ

所在地 滋賀県大津市京町四丁目1-1

公式サイト <https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/suido/316333.html>

主要事業の概要

琵琶湖流域下水道高島浄化センターでは、水処理で発生する下水汚泥をコンポスト化して有効利用しています。

出展担当

担当者 山本誠太

電話番号 077-528-4213

メール dd00@pref.shiga.lg.jp

出展者詳細

Booth
08

埼玉県下水道局

自治体



強み・特徴・販売などの実績

下水処理の過程で発生する污泥の燃焼灰は、りん酸を多く含有しています。

埼玉県下水道局では、昨年4月に全国で初めて下水污泥燃焼灰を菌体りん酸肥料として登録しました。

現在、下水污泥燃焼灰を少量での試験販売を行っており、肥料会社等と協力して、肥料原料としての下水污泥燃焼灰の利用可能性の検討を進めています。

基本データ

所在地 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-13-3

公式サイト <https://www.pref.saitama.lg.jp/c1502/news/page/news2024043001.html>

主要事業の概要

下水処理の過程で発生する污泥の燃焼灰を菌体りん酸肥料として登録し、肥料原料として試験販売しています。

提供可能な肥料原料

下水污泥(燃焼灰)

出展担当

担当者 井村俊彦

電話番号 0488305453

メール a5448-01@pref.saitama.lg.jp

Booth
09

東京都下水道局

自治体



強み・特徴・販売などの実績

東京都では、令和6年1月に砂町水再生センター内の東部スラッジプラントにおいて、りん回収・肥料化施設を稼働させ、肥料原料となる下水再生りんの生産を開始しました。

現在は、施設の運転適性化を検討するとともに、下水再生りんの肥料としての品質管理を行っています。

【保証成分・特徴など】

- 肥料の種類: 副産肥料
- 保証成分量: 可溶性りん酸 12%
- 可溶性石灰 15%

基本データ

所在地 東京都東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

公式サイト <https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/>

主要事業の概要

下水処理工程から回収した再生りんの肥料化に向けて取り組みます

提供可能な肥料原料

下水污泥(回収りん)

出展担当

担当者 塩見浩

電話番号 0356186398

メール Hiroshi_Shioimi@member.metro.tokyo.jp

Booth
01

農林水産省関東農政局

相談窓口



国内肥料資源の利用拡大を応援しています

強み・特徴・販売などの実績

関東地域における国内肥料資源の拡大に向けた施策をご紹介します。

- ・国内肥料資源利用拡大対策事業 (R4補正、R5補正) の採択マップ
- ・国内肥料資源の活用事例
- ・関東肥料ネットワーク

肥料登録手続き等に関する情報、相談

良質な堆肥づくりのすすめ

農業集落排水施設の汚泥資源循環の取組

みどりの食料システム戦略関連情報

基本データ

所在地 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1合同庁舎2号館10階

公式サイト 「国内資源の肥料利用の拡大について(農林水産省HP)」
https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_hiryo/kokunaishigen.html

主要事業の概要

関東地域における国内肥料資源の利用拡大に向けた関係者の支援とみどりの食料システム戦略情報等の提供。

出展担当

担当者 奈良百合子

電話番号 048-740-0452

メール kantohiryou@maff.go.jp

Booth
02

一般社団法人日本有機資源協会

相談窓口



一般社団法人 日本有機資源協会

強み・特徴・販売などの実績

バイオ液肥(メタン発酵消化液)の利用

相談対象

- ・バイオ液肥の製造、メタン発酵システム全体
- ・バイオ液肥の成分・特性
- ・バイオ液肥の施用方法(時期、場所、運搬、散布車両、散布装置等)
- ・バイオ液肥を固液分離した固分の堆肥または再生敷料としての利用
- ・地域でバイオ液肥を活用するための計画づくり

基本データ

所在地 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館301

公式サイト <https://www.jora.jp/>

主要事業の概要

バイオマス活用による循環型社会の構築、地域活性化、環境保全、新産業創出

出展担当

担当者 嶋本浩治

電話番号 0332975618

メール hiryo2023@jora.jp

出展者詳細

Booth
03

一般財団法人畜産環境整備機構

相談窓口



基本データ

所在地 東京都港区虎ノ門5-12-1ワイコービル3F
一般財団法人畜産環境整備機構

公式サイト <https://www.leio.or.jp/>

主要事業の概要

家畜ふん尿の低コストで確実な処理・利用技術の開発
環境保全型畜産経営技術や総合的飼養管理技術の体系化

強み・特徴・販売などの実績

- ・家畜ふんの堆肥化施設設計マニュアルの出版
- ・家畜ふん堆肥を用いた混合堆肥複合肥料に関するマニュアルの出版
- ・牛、豚、鶏の畜種別の造粒堆肥の混合利用に関するマニュアルの出版
- ・高肥料成分ペレット堆肥の調製と安定貯蔵技術に関するマニュアルの出版
- ・堆肥分析(有料)

出展担当

担当者 羽賀清典

電話番号 03-3459-6300

メール haga@leio.or.jp

Booth
04

公益社団法人日本下水道協会

相談窓口



基本データ

所在地 東京都千代田区内神田2-10-12

公式サイト <https://www.jswa.jp/>

主要事業の概要

当協会は、下水道事業を主体的に実施する地方公共団体の事業支援、下水道事業を支える民間企業の事業支援、官民連携の推進等に関する事業を実施しています。

強み・特徴・販売などの実績

日本下水道協会では、3つの役割(シンクタンク、スポークスマン、ナレッジセンター)を踏まえ、地方公共団体及び民間企業等に対する事業支援を行い、下水道事業を促進し、さらに進化・成熟化させることにより、持続可能な社会の構築に貢献する取組を進めています。下水道GX促進調査専門委員会を令和4年度に設置し、地方公共団体向けの脱炭素検討支援方策等の検討や下水汚泥の肥料利用に向けた検討の支援を実施しています。

出展担当

担当者 前田、青柳、溝上

電話番号 0362060369

メール shishin@ngsk.or.jp

Booth
05

一般社団法人全国肥料商連合会

相談窓口



強み・特徴・販売などの実績

国内資源由来肥料の利用拡大に係る製品開発、流通促進、普及活動に関する各段階における事業推進のための相談を受け。

基本データ

所在地 東京都文京区本郷3丁目3-1 お茶の水KSビル3階

公式サイト <https://www.zenpi.jp/>

主要事業の概要

商人系肥料流通事業者により構成する、日本で唯一の全国組織。農業・肥料を通じ地域活性化の発展に努めるもの。

出展担当

担当者 西出邦雄

電話番号 09027278883

メール nishide@zenpi.jp

お問い合わせ先

令和6年度 国内肥料資源の利用拡大に向けた
マッチングフォーラム in 東京 開催事務局

株式会社マイナビ 地域活性CSV事業部

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 バレスサイドビル6F

080-9991-8199

担当: 打越

受付時間 10:00~17:00(土・日・祝日は除く)

agri-hiryo@mynavi.jp

国内肥料資源推進ロゴマークについて

農林水産省では、令和5年2月に「国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会（以下「全国推進協議会」という。）」を設置し、この全国推進協議会の取組の一環として、令和5年6月に「国内肥料資源の利用拡大プロジェクト」を立ち上げるなど、国内の肥料関係者間のマッチング機会の提供、先進事例の横展開・関連情報の発信等、全国各地における国内資源由来肥料の利用拡大に向けた種々の取組を行っています。

この度、国内肥料資源の利用拡大に関する取組を更に推進するため、各会員のHP等への掲載など広報活動への利用や、国内資源由来肥料に添付可能な「国内肥料資源推進ロゴマーク」を作成いたしました。是非、様々な用途でご利用ください。

国内肥料資源 推進ロゴマーク



【全国推進協議会会員名】は、国内肥料資源の利用拡大に賛同しています

利用例



ロゴマークの利用方法について

本ロゴマークの利用を希望する会員の方は、下記URL先に掲載の「国内肥料資源推進ロゴマーク利用規程」等をご覧いただき、利用申請書等必要書類を下記提出先までお送りください。

会員登録をされていない方は、次ページ掲載の「国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会について」をご確認の上、会員登録をお願いいたします。

（国内肥料資源の利用拡大プロジェクト 3 . 国内肥料資源推進ロゴマークの作成）

https://www.maff.go.jp/i/seisan/sien/sizai/s_hiryu/kokunaishigen/zenkokuyougikai/project.html

【担当者・お問合せ先・提出先】

農林水産省農産局技術普及課国内肥料資源推進ロゴマーク担当

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

TEL: 03-6744-2182、E-mail: kokunai_shigen@maff.go.jp

国内肥料資源の利用拡大に向けた 全国推進協議会について

趣旨

農業生産に必要な不可欠な肥料については、その原料の多くを海外に依存していることから、国際市況や原料産出国の輸出に係る動向の影響を強く受け易い状況となっている。

こうした中、農業生産を持続可能なものにするためには、堆肥や下水など肥料成分を含有する国内資源の肥料利用を拡大し、輸入原料に過度に依存した肥料利用からの転換を進めていく必要がある。

このため、国内資源の肥料利用の拡大に向け、関係団体・関係事業者の取組方針等を共有するほか、関係事業者間のマッチング等を進めることなどにより、原料供給から肥料製造、肥料利用まで連携した取組を各地で創出していくことを支援する。

役割・主な活動内容

I 広域的な連携の 取組のサポート

事業者間のマッチング機会（国内資源利用体制の構築）の場を提供し、新たな連携づくりをサポートします。

II 生産現場での利用拡大に 向けた取組を推進

先行事例等を基に、国内資源由来肥料の導入メリットや、生産現場での導入に当たって留意すべき事項等ととりまとめ、生産現場における国内資源の肥料利用の拡大に向けた取組を推進します。

III 先進事例の横展開・ 関連情報の提供

農水省HPにおいて、関連施策屑報のほか、会員からの情報を随時受け付け、多様な関係者による取組に関する情報や知見をタイムリーに発信します。

出展：農林水産省 (https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_hiryo/kokunaishigen/zennkokuuishin.html)

会員登録について（随時受付中）

農林水産省では、国内肥料資源の利用拡大に向けた全国推進協議会の設立趣旨に賛同する会員を募集しています。下記の各号に該当する者であって、会員となることを希望される場合は、下記URLより会員登録を行ってください。

- (ア) 全国推進協議会の設立趣旨に賛同し、全国推進協議会の活動に協力すること。
- (イ) 会員相互で提供情報を共有することに同意していること。
- (ウ) 反社会的勢力に該当しないこと及び反社会的勢力と関わりを持たないこと。

https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/nousan/sizai/member_registration.html

